

# 取扱説明書

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。





ご使用前に、本冊子をお読みいただき、正しくお使いください。

本冊子は、お読みになったあと、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

## ■ 使用時のご注意

※ システムが操作できなくなったときは、電源スイッチを4秒以上押しして強制終了してください。

## ■ 記号の意味

 <b>危険</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 <b>警告</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 <b>注意</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。
 <b>お願い</b>	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。

\*1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

\*2 軽傷とは、治療に入院・長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

\*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

## < Trademarks >

本冊子で使用している商標について記述します。

- Intel、インテル、Intelロゴは、アメリカ合衆国および／またはその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標です。
- HDMI、HDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- USB Type-C™、USB4™はUSB Implementers Forumの商標です。
- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他の記載されている社名・商品名・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。




本冊子の記載内容については、予告なく変更する場合があります。

# 安心してお使いいただくために

ここでは、ご使用の際の重要な情報や、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。

本製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

## 図記号の例

図記号	図記号の意味
 禁止	⊘ は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	● は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	△ は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

## 免責事項について

- 地震、雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社はいっさい責任を負いません。
- 本製品および本製品に付属のソフトウェアの使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求などについて、当社はいっさい責任を負いません。
- 本製品の各種説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社はいっさい責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社はいっさい責任を負いません。
- 記憶装置（ハードディスクなど）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。

- 本製品の保証条件は、付属している当社所定の保証書の規定をご覧ください。
- 本製品および本製品に付属のソフトウェアの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本注意事項には、一部機種には搭載されていない機能についての記述もあります。あらかじめご了承ください。

# － 安全上のご注意 －

## ●内蔵バッテリーの取り扱いについて

### 危険

内蔵バッテリーを乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、窒息したり、化学やけど、粘膜組織の貫通など最悪の場合は死に至ることがあります。ただちに取出す必要がありますので、すぐに医師に連絡し指示を受けてください。



禁止

内蔵バッテリーから漏れた液が目に入った場合は、すぐに水で洗浄し、ただちに医師に相談する

液が目に入ると失明など障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗浄したあと、医師の治療を受けてください。



指示

### 警告

内蔵バッテリーを寿命などで交換する場合は、推奨品を使用する  
推奨品以外の製品を使用すると、液漏れ・発熱・破裂し、やけどやけがをするおそれがあります。



指示

## ●パソコン本体と電源コード・ACアダプターの取り扱いについて※1

### 警告

もし、異常な音や異常なおいがかたり、過熱、発煙、変形したときは、すぐにパソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・やけど・感電のおそれがあります。点検・修理を、保守サービスに依頼してください。



電源プラグを  
コンセントから抜け

もし、パソコン本体やACアダプターなどを落としたり、強い衝撃を与えたときは、すぐにパソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電・故障のおそれがあります。点検・修理を、保守サービスに依頼してください。



電源プラグを  
コンセントから抜け

電源コードは、本製品に付属のものを使用する

付属の電源コード以外を使用すると、火災・感電のおそれがあります。



指示

通電中のパソコン本体やACアダプターにふとんをかけない。また、じゅうたんなどのように熱の逃げないものの上で使用したり、布などでくるんだりしない

内部の温度が上がり、火災・やけど・故障のおそれがあります。



禁止

ACアダプターは本製品に付属のものを使用する

本製品付属以外のACアダプターを使用すると、火災・破裂・発煙のおそれがあります。



指示

電源コードのアース線は電源コンセントのアース端子に接続する

感電のおそれがあります。

\* ACアダプターが付属しないモデルのみ



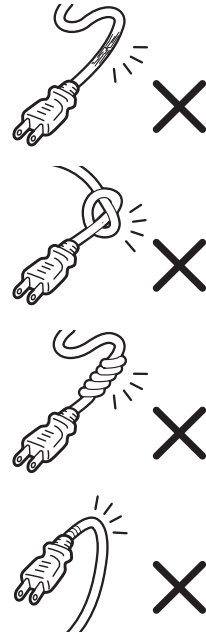
指示

※1 ACアダプター付属モデルのみ

## 電源コードを取り扱うときは次のことを守る

- ・強く引っばったり、折り曲げない
- ・結んだ状態で使用しない
- ・折れ曲がったりねじれた状態で使用しない
- ・加工したり傷つけたりしない
- ・膨らんでいたり、傷ついた電源コードは使用しない
- ・重いものを載せない
- ・ドアなどにはさまない
- ・加熱したり、熱器具に近づけたりしない
- ・水、湿気のかかる場所で使用しない
- ・束ねたままで使用しない
- ・ACアダプターなどに巻き付けない
- ・クギやステーブルなどで固定しない

これを守らないと、火災・やけど・感電のおそれがあります。もし、電源コードが傷ついたときは、使用を中止し、保守サービスに相談してください。



指示

## 電源プラグは、AC100Vコンセントの奥まで確実に差し込む

確実に差し込んでいないと、火災・感電のおそれがあります。



指示

電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、電源を切り、電源プラグを抜いてから乾いた布などで清掃するそのまま使用すると、火災・感電のおそれがあります。長時間使用しないときはコンセントから抜き、ほこりが付着しないように保管してください。



指示

## 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

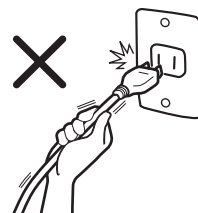
電源プラグを差したままにすると、ほこりや絶縁破壊などが原因で火災・やけど・感電のおそれがあります。



指示

## 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らない

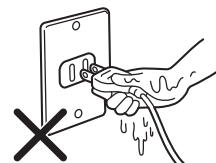
電源プラグを持って抜いてください。電源コードが破損し、火災・感電のおそれがあります。



禁止

## ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない

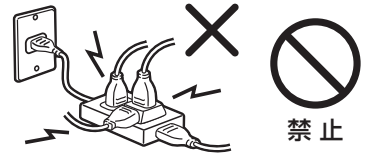
感電のおそれがあります。



禁止

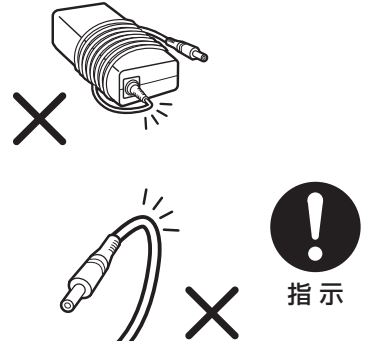
## タコ足配線をしない

電源コードをタコ足配線にするとコンセントが過熱し、火災・感電のおそれがあります。



## ACアダプターを取り扱うときは次のことを守る

- ・ ACアダプターに電源コードやケーブルを巻き付けない
- ・ 電源コードやケーブルを巻き付けたまま使用しない
- ・ ACアダプターの根元に無理な力を加えない
- ・ 無理に折り曲げない
- ・ ケーブルが膨らんでいたり、傷ついている場合は使用しない
- ・ ケーブルに輪ができた状態や、ねじれた状態では使用しない



これらを守らないと、火災・やけど・感電のおそれがあります。もし、ACアダプターが傷ついたときは、使用を中止し、保守サービスに相談してください。

\* プラグやACアダプターの形状はモデルによって異なります。

## ACアダプターの表面には触れ続けない

通電中や充電中は、ACアダプターの表面温度が高くなり、やけどのおそれがあります。



## ⚠ 注意

パソコン本体を移動する場合は、本体に接続している電源コードまたはACアダプターをパソコン本体から取りはずす

パソコン本体のコネクタ部分に無理な力が加わり、火災・感電・破損のおそれがあります。



指示

お手入れの前には、パソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

電源を切らずにお手入れをはじめると、感電のおそれがあります。



電源プラグを  
コンセントから抜け

電源コネクタを取り扱うときは次のことを守る

- ・パソコンの電源コネクタに電源コードまたはACアダプターのプラグを確実に差し込む
- ・パソコンの電源コネクタ部には強い力を加えない



指示

これらを守らないと、やけど・発煙のおそれがあります。

\* プラグの形状はモデルによって異なります。

付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター以外には使用しない

付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター専用です。他の製品に使用すると、火災・感電のおそれがあります。

\* ACアダプター付属モデルのみ



禁止

付属の電源コードは、本製品以外には使用しない

付属の電源コードは、本製品専用です。他の製品に使用すると、火災・感電のおそれがあります。

\* ACアダプターが付属しないモデルのみ



禁止

## ●パソコン本体と周辺機器・増設する機器の取り扱いについて※2

### 警告

お客様ご自身で、分解・改造・修理しない

火災・感電・故障・けがのおそれがあります。点検・修理は、保守サービスに依頼してください。



分解禁止

雷が鳴り出したらパソコン本体やケーブル類には触れない

落雷による感電のおそれがあります。

雷の発生が予想されるときには、シャットダウン操作を行って電源を切り、パソコン本体からケーブル類（電源コード、ACアダプター、LANケーブル、USBケーブルなど）をはずしてください。



禁止

ビニール袋などの包装材料は乳幼児の手の届かないところに保管する

口に入れたり、頭からかぶるなどして窒息のおそれがあります。



指示

取りはずした小さな部品（カバー、キャップ、ネジなど）は、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込むと窒息のおそれがあります。万が一飲み込んだ場合はただちに取り出す必要がありますので、すぐに医師に連絡し指示を受けてください。



指示

可燃性ガスエアゾールやスプレーをパソコン本体に使用しない

清掃や可動部の潤滑用など、可燃性のエアゾールやスプレーをパソコン本体に使用すると、噴射される可燃性ガスがパソコン本体の内部にとどまり、モーターやスイッチの接点や静電気の火花が引火し、爆発・火災・やけど・故障のおそれがあります。



禁止

砂や土、泥などの上に置いたり、砂や土、泥などをかけたりしない。また、砂などが付着した手で触れない

火災・やけど・けが・感電などの原因となります。



禁止

※2 標準で使用できる周辺機器・増設可能な機器は製品の仕様によって異なります。



## ⚠ 注意

機器拡張の作業を始める前に、必ずパソコン本体の電源を切り、電源コードなどのすべてのケーブルを取りはずす  
守らないと、感電・けがのおそれがあります。



電源を切った直後に機器の拡張を行わない  
電源を切った直後は内部が高温になっており、やけどのおそれがあります。電源を切ったあと、30分以上たってから本体カバーを取りはずしてください。



機器拡張の作業上必要な場所以外には手を触れない  
内部には高電圧部分があるので、感電のおそれがあります。



機器拡張を行うときには作業用手袋を着用する  
本体内部や回路基板などの縁や角で、けがのおそれがあります。



風通しの良い場所に置く  
装置の通風孔をふさいだり、装置の発する熱がこもりやすい場所に置いたりすると装置内部の温度が上がり、火災・故障・誤動作のおそれがあります。



パソコン本体の上または近くに「花びん・コップ」などの液体の入った容器や、「ステーブル・クリップ」などの金属物を置かない  
異物（金属片・液体など）がパソコン本体の内部に入ると火災・感電のおそれがあります。異物が内部に入った場合は、すぐにパソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。点検・修理を、保守サービスに依頼してください。



ふる場、シャワーなどの水がかかったり、湿度の高い場所あるいは屋外などの雨や霧が入り込む場所では使用しない  
火災・感電のおそれがあります。



ぐらついた台の上、かたむいたところなど不安定な場所に置かない  
落ちたり、たおれたりしてけがをすることがあります。



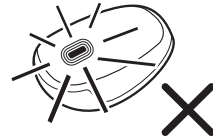
ヘッドセット／ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない  
耳を刺激するような大きな音量を長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。



周辺機器を接続したり、取りはずしたりする場合は、各種説明書に記述されてあるところ以外は開けない  
火災・やけど・感電のおそれがあります。



マウス底面の光学式センサーの赤色などの光、  
レーザーマウス底面のレーザー照射部は直接見ない  
目を痛めるおそれがあります。



オーディオ機器などの取り付け／取りはずしをする場合は、パソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて作業をする  
電源を入れたまま接続すると、感電やけがのおそれがあります。



電源プラグを  
コンセントから抜け

パソコン本体の電源を入れる前には、接続されているスピーカーやオーディオ機器などの音量を最小にする  
突然大きな音が出て聴力障害などになるおそれがあります。



機器の取り付け／取りはずしをする場合は、シャットダウン操作を行って電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて作業する  
電源を入れたまま作業すると、感電・故障のおそれがあります。



電源プラグを  
コンセントから抜け

破損したまま使用しない  
火災・やけど・けがなどの原因となります。



## ●DVDドライブの取り扱いについて<sup>※3</sup>

### 警告

DVDドライブは、内部をのぞいたり、分解したりしない  
内部にはレーザー光線が使用されており、人体への悪影響（目の痛みなど）を及ぼすおそれがあります。



※3 搭載されているドライブの種類は、製品の仕様によって異なります。

## ●無線通信の取り扱いについて※4

### 警告

付近に植込み型医療機器（心臓ペースメーカー等）を装着したかたがいる可能性がある場所では、パソコン本体の電源を切る  
電波により植込み型医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。



植込み型医療機器（心臓ペースメーカー等）を装着しているかたは、無線通信機能（無線LAN／Bluetooth<sup>®</sup>機能）が搭載されている製品を使用する場合、植込み型医療機器の装着部位から15cm以上離す  
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



医療用電気機器の近くではパソコン本体の電源を切る、また、医療用電気機器を近づけない  
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故のおそれがあります。



自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くではパソコン本体の電源を切る  
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故のおそれがあります。



電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る  
電子機器の使用が制限されている場所（病院など）では、無線通信機能を無効に設定したうえで、パソコンの電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えるおそれがあります。  
詳しくは、病院などの指示に従ってください。



パソコン本体を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合はパソコン本体の電源を切る  
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故のおそれがあります。



※4 無線LAN機能搭載モデル、Bluetooth<sup>®</sup>機能搭載モデルだけが対象となります。

# — ご使用上のお願い —

## ●パソコン本体と周辺機器の取り扱いについて

パソコン本体と周辺機器を取り扱うときは次のことを守る

- ・ 直射日光が当たる場所、しめ切った車の中、暖房機器の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。
- ・ 極端に低温になるところに置かないでください。
- ・ 磁石、スピーカー、テレビ、磁気プレスレットなど磁気を発するものの近くで使用しないでください。
- ・ パソコンの表面を硬いものでこすらないでください。
- ・ 製品や画面の上にものを乗せたり、ものを落としたりしないでください。
- ・ ほこりの多いところに置かないでください。
- ・ 急激な温度変化を与えないでください。
- ・ 機器に強い衝撃や外圧を与えないでください。
- ・ 機器の装着などを行う場合以外は、本体のカバーを開けないでください。
- ・ ホットインサクション<sup>\*5</sup>が認められていない周辺機器の取り付けや取りはずしを行う場合には、パソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ スイッチ／ボタンを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いもので操作したりしないでください。
- ・ メディアカード<sup>\*6</sup>は使用後熱くなっている場合があります。取りはずす際、カードが熱くなっている場合は少し時間をおき、カードが冷めてから取りはずしてください。時間をおいても温度が下がらない場合は、パソコン本体の電源を切り、冷めるのを待って取りはずしてください。
- ・ パソコン本体を持ち運ぶ場合は、パソコン本体に接続されているケーブルをすべてはずし、電源を切ってください。
- ・ アプリケーションソフトの動作中に電源を切らないでください。

これらを守らないと、故障・破損・誤動作・機能低下・記憶内容の消失などのおそれがあります。パソコン本体や周辺機器に異常が見られたときは使用を中止し、保守サービスに相談してください。

当社純製品以外の周辺機器やアプリケーションソフトを使用する場合は、本製品で使用可能かどうかを、取り扱い元に確認してください。

当社純製品以外の周辺機器やアプリケーションソフトが原因で発生した損害（お客様へのけが、財産への損害およびパソコン本体の故障によるデータの消失など）については、当社では責任を負いません。あらかじめご承知ください。

コンピューターウイルスによる被害を防ぐため、最新のコンピューターウイルスチェックプログラムを使用して定期的にチェックしてください。

お手入れするときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。

変質・変形・変色のおそれがあります。

※5 ホットインサクション：本体の電源が入った状態での取り付け／取りはずし

※6 メディアカードとは、SDメモ리카ード、マルチメディアカードなどを示します。標準で使用できるメディアは、機種／モデルによって異なります。

## ●電源コードとACアダプター<sup>※7</sup>の取り扱いについて

通電中、ACアダプターの表面温度が高くなる場合がありますが故障ではありません。パソコン本体を移動するときは、電源コードを抜き、温度が下がったことを確認してください。温度の影響を受けやすい木製品・家具などの上に置くと、あとがつくことがあります。

※7 ACアダプター付属モデルのみ

## ●DVDドライブの取り扱いについて<sup>※8</sup>

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したCDメディア／DVDメディアは使用しないでください。

これらのメディアはパソコン本体内で高速に回転しますので、飛び散ってけが・故障のおそれがあります。

DVDドライブのトレイを閉める場合は、指をはさまないように注意してください。

※8 搭載されているドライブの種類は、モデルによって異なります。

## ●ハードディスク、SSDおよび記録メディア<sup>※9</sup>の取り扱いとデータ保護について

ハードディスク、SSDおよび記録メディアを取り扱うときは次のことを守る

- ・ハードディスク、SSDおよび記録メディアへの書き込み・読み出し中は電源を切ったり、記録メディアを取りはずし／取り出したりしないでください。
- ・新しい機器の取り付けやアプリケーションのインストールをする前に、現在作成中のデータは、ハードディスク、SSDおよび記録メディアに保存してください。
- ・一度使用したハードディスク、SSDおよび記録メディアをフォーマットする場合は保存されている内容を確認してください。
- ・ハードディスク、SSDおよび記録メディアに保存しているデータは、万が一故障が起きたり、変化／消失した場合に備えて、定期的にバックアップをとって保存してください。
- ・記録メディアは消耗品です。大切なデータはコピーしておくことをおすすめします。
- ・記録メディアを、水がかかったり、湿気やほこりの多い場所、高温・低温になる場所で保管しないでください。

これらを守らないと、データの書き込み・読み出しの失敗、記憶内容の消失などのおそれがあります。ハードディスク、SSDおよび記録メディアに保存した内容の損害については、当社はいっさいその責任を負いません。

※9 記録メディアとは、CD、DVD、メディアカード、USBの記録可能な周辺機器などを示します。標準で利用できるメディアは、機種／モデルによって異なります。

## ●無線通信の取り扱いについて※10

電子レンジ付近、静電気や電波障害の発生する場所、金属ドアで遮蔽された部屋などでは、使用しないでください。

設置環境により、電波が届かない場合があります。

※10 無線LAN機能搭載モデル、Bluetooth®機能搭載モデルだけが対象となります。

## 用途制限について

●本製品は人の生命に直接かかわる装置等<sup>(※1)</sup>を含むシステムに使用できるよう開発・制作されたものではないので、それらの用途に使用しないこと。

※1：人の生命に直接かかわる装置等とは、次のようなものをいいます。

- ・生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器
- ・有毒ガスなど気体の排出装置および排煙装置
- ・消防法、建築基準法など各種法律を遵守して設置しなければならない装置 など

●本製品を、人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム<sup>(※2)</sup>に使用する場合は、システムの運用、維持、管理に関して、特別な配慮<sup>(※3)</sup>が必要となるので、当社営業窓口にご相談してください。

※2：人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステムとは、次のようなものをいいます。

(原子力発電所の主機制御システム、原子力施設の安全保護系システム、その他安全上重要な系統およびシステム)

(集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システム)

※3：特別な配慮とは、当社技術者と十分な協議を行い、安全なシステム（フル・プルーフ設計、フェール・セーフ設計、冗長設計する等）を構築することをいいます。

## 連続運転について

本製品は24時間を超えるような長時間の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。本製品を使わないときは、電源を必ず切ってください。

長時間連続使用等、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内でも部品交換（有料）が必要となります。

## 結露について

結露（空気中の水分が水滴になる現象）しないよう急激な温度変化を与えないでください。

寒いところから暖かいところにパソコン本体を移動したときなどは、パソコンの表面や内部に結露が発生しやすくなります。

結露が発生したままパソコンを使用すると故障の原因となりますので、結露がなくなるまで電源を入れしないでください。

# － 使用環境と姿勢 －

本製品を正しい使用環境でお使いいただければ、身体的疲労を軽減するとともに、本製品の寿命を少しでも長くすることができます。

安全と健康を守り、本製品をより快適にお使いいただく環境について説明します。

## パソコンの置き場所

- 温度は10～35℃、湿度は20～80%の環境にする
- 急速に温度や湿度が変化するような環境は避ける
- 暖房器具などの熱いものの近くには置かない
- 腐食性の薬品のそばに置かない
- 振動などの無い、安定した平らな場所に置く
- 放熱のために、パソコン本体の周囲に適当なスペースを確保する  
特に通風孔がある面は、少なくとも壁から10cm程度離すようにしてください。
- マウスなどの周辺機器を操作するのに適当な場所を確保する
- 無線通信装置から離す  
携帯電話やスマートフォン／タブレットも無線通信装置の一種です。

## 照明

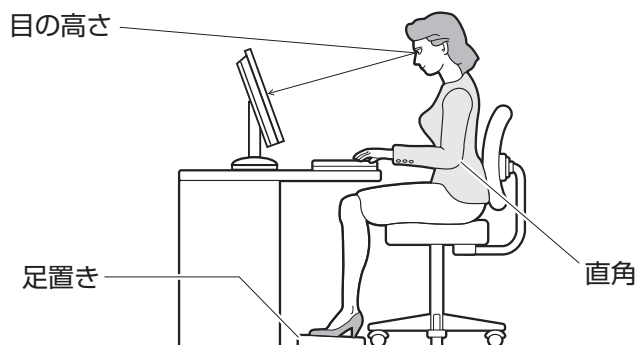
- 日光や照明が画面に反射しないように設置する  
薄く着色された窓ガラスを使用したり、ブラインドやスクリーンで光を遮ってください。
- 明るい照明や日光が直接眼に入るような場所にディスプレイを置かない
- なるべく、柔らかい間接照明などを使用する  
書類や机を照らすためには、スタンドを使用し、その際スタンドの光が画面に反射したり、直接目に入らない位置に置いてください。
- 画面の明るさと広い視界を得るために、ディスプレイの角度を調節する

## 健康のために気をつけたいこと

- リラックスした姿勢で座る  
肩や首が疲れないように、背中を楽にするために、椅子やマウスなどを正しい位置に置いてください。
- 適度に姿勢を変える
- 時々立ち上がってストレッチする  
1日に何度も手首と首を動かしたりのばしたりしてください。
- 1時間を超えて連続した作業をしないようにする  
1時間に10～15分程度の休憩時間をとってください。
- 作業時間内にも1～2分の小休止を1～2回とる
- 長時間使用して、身体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに使用をやめて休息する  
長時間使い続けると、腕や手首が痛くなることがあります。万が一、休息しても不快感や痛みが取れない場合は、医師の診察を受けてください。
- ディスプレイの角度、輝度、明るさ、コントラストなどを、画面が見やすいように調節する  
詳しくは、『ディスプレイに付属の説明書』をご覧ください。
- ディスプレイの表示画面を定期的に清掃する  
表示画面がほこりなどで汚れると、表示内容が見にくくなります。

## 使用時の姿勢

- ディスプレイの正面に、適当な高さで距離をおいて座る  
眼精疲労を避けるために、ディスプレイが目の高さより低くなるように調節してください。
- キーボードがひじよりも少し下にくるように椅子の高さを調節する
- おしりよりもひざが少し高くなるように座る
- 背筋が曲がらないように、椅子の背もたれを調節する
- ひざとひじはほぼ90度になるように、まっすぐ座る  
前にかがんだり、背もたれによりかかたりしないでください。



(注) 図はイメージです。

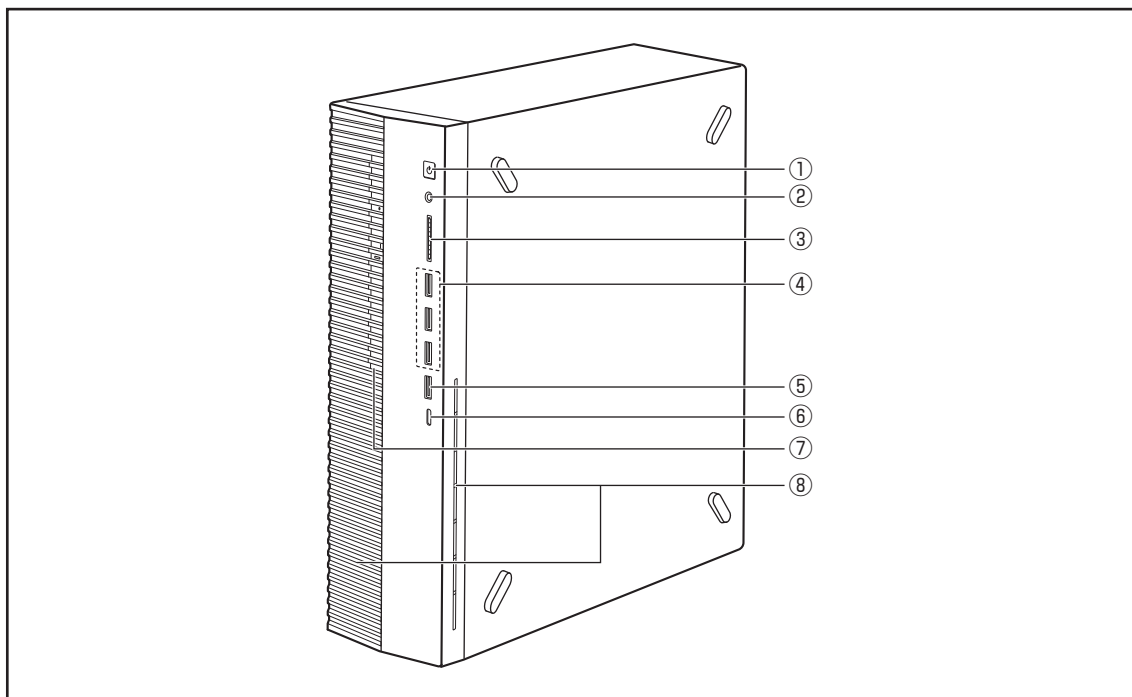






# 1 各部の名称と機能

## お願い 外観図について



- 本製品に表示されているコネクタ/LED/スイッチのマーク（アイコン）は最大構成（モデルによっては選択できない構成があります）を想定しています。ご購入いただいたモデルによっては、機能のないものがあります。

## 1 本体正面



- ① 電源スイッチ   
電源がONのとき、が点灯します。
- ② マイク入力/ヘッドホン出力端子  /   
ヘッドホンやヘッドセットを接続します。マイク入力時はモノラル音声となります。

**参照**▶ 使用できる端子の種類 [「マイクやヘッドホンを使う（30ページ）」](#)

- ③ SDカードスロット   
メディアカードをセットします。
- ④ USB3.2 (Gen1) Type-A コネクタ (×3)  \*1  
USB3.2 (Gen1) 規格に対応しています。

\* 1 以降、本書では「USB Type-A コネクタ」と呼びます。

⑤ USB3.2 (Gen2) Type-A コネクタ  \*1

USB3.2 (Gen2) 規格に対応しています。

パソコン本体の電源が入っていない状態でも、USB コネクタから外部機器に電源を供給することができます。

⑥ USB3.2 (Gen2) Type-C コネクタ  \*2

USB3.2 (Gen2) 規格に対応しています。

映像出力にも対応しています。

⑦ ドライブ

\* 搭載モデルのみ

ドライブにはCD/DVDをセットします。

**参照**  CD/DVDのセットと取り出し [「CD/DVDを使う \(31 ページ\)」](#)

⑧ 通風孔

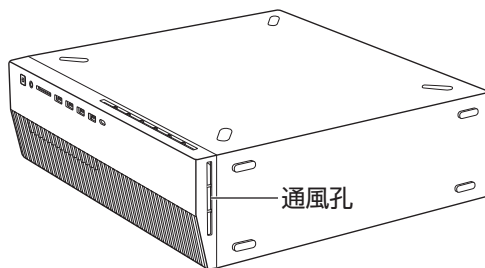
空気を通します。ふさがないようにください。

\* 1 以降、本書では「USB Type-A コネクタ」と呼びます。

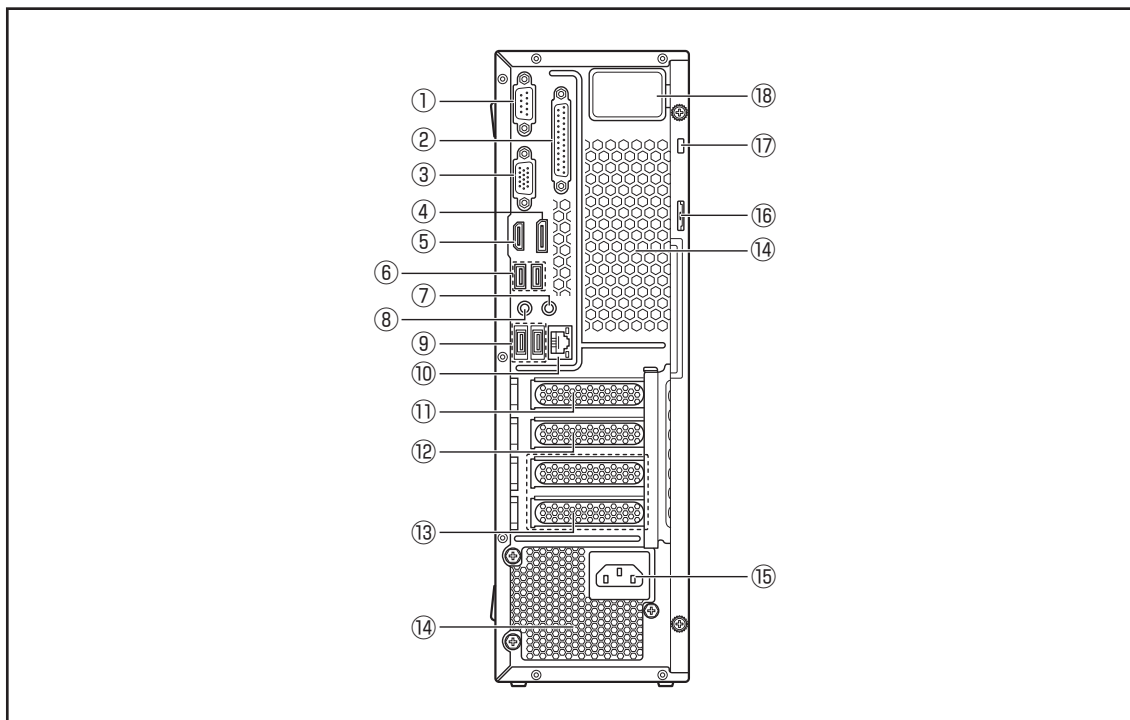
\* 2 以降、本書では「USB Type-C™ コネクタ」と呼びます。

**お願い**

- 本体前面、側面、背面に通風孔があります。  
通風孔をふさがないようにください。
- 本体底面にも通風孔があります。  
通風孔をふさがないようにください。



## 2 本体背面



### ① シリアルポート [⋯]

\* 搭載モデルのみ

RS-232C 規格の機器を接続します。

### ② パラレルポート

\* 搭載モデルのみ

IEEE 1284 規格の機器を接続します。

### ③ アナログRGBコネクタ

**参照** ▶ ディスプレイの接続 [「ディスプレイ \(別売り\) の接続 \(25ページ\)」](#)

### ④ ディスプレイポート

**参照** ▶ ディスプレイの接続 [「ディスプレイ \(別売り\) の接続 \(25ページ\)」](#)

### ⑤ HDMI<sup>®</sup> 出力端子 **HDMI<sup>®</sup>**

**参照** ▶ ディスプレイの接続 [「ディスプレイ \(別売り\) の接続 \(25ページ\)」](#)

### ⑥ USB3.2 (Gen2) Type-A コネクタ (×2) \* 1

USB3.2 (Gen2) 規格に対応しています。

\* 1 以降、本書では「USB Type-A コネクタ」と呼びます。

## ⑦ LINE OUT 端子 →

3.5mm φステレオミニプラグタイプのスピーカーを接続します。

本製品には外部スピーカーは付属していません。必要に応じて、アンプ付き外部スピーカーを準備してください。

### メモ

- 本体前面のマイク入力/ヘッドホン出力端子にヘッドホンやヘッドセットを接続すると、LINE OUT 端子に接続した外部スピーカーからは、音声が出力されません。

## ⑧ LINE IN 端子 →

3.5mm φステレオミニプラグタイプのケーブルを使用してオーディオ機器などを接続します。

## ⑨ USB2.0 Type-A コネクタ (×2) \*1

USB2.0規格に対応しています。

## ⑩ LAN コネクタ

LAN コネクタの両脇には、LAN インターフェースの動作状態を示す2つのLEDがあります。

- LAN アクティブLED (オレンジ色) \*2  
データを送受信しているときに点灯します。
- リンクLED (緑色) \*2  
ネットワークに正常に接続され、使用可能なときに点灯します。

## ⑪ Low Profile PCI Express × 16 スロット

Low Profile 規格に対応した PCI Express × 16 カードを取り付けます。

**参照** ▶ PCI Express カード [「PCI Express カードを増設する \(43 ページ\)」](#)

## ⑫ Low Profile PCI Express × 1 スロット

Low Profile 規格に対応した PCI Express × 1 カードを取り付けます。

**参照** ▶ PCI Express カード [「PCI Express カードを増設する \(43 ページ\)」](#)

## ⑬ Low Profile PCI Express × 4 スロット (×2)

Low Profile 規格に対応した PCI Express × 4 カードを取り付けます。

**参照** ▶ PCI Express カード [「PCI Express カードを増設する \(43 ページ\)」](#)

## ⑭ 通風孔

空気を通します。ふさがらないでください。

## ⑮ 電源コネクタ (AC POWER INLET)

**参照** ▶ 電源の接続 [「電源コードの接続 \(28 ページ\)」](#)

## ⑯ セキュリティロック

\* 1 以降、本書では「USB Type-A コネクタ」と呼びます。

\* 2 本LEDは、データ通信可能な状態のときに有効です。その他の状態 (OSの起動時など) では、正しく表示されない場合があります。

### ⑰ セキュリティロックスロット

盗難を抑止するためのセキュリティケーブルを接続します。  
セキュリティケーブルは、本製品に対応しているものをご利用ください。  
詳しくは販売店などに確認してください。

#### お願い

- 本製品のセキュリティロック／セキュリティロックスロットおよび接続するセキュリティケーブルは盗難を抑止するためのものであり、万が一発生した盗難事故の被害について、当社はいつさいの責任を負いません。

### ⑱ 無線通信アンテナ

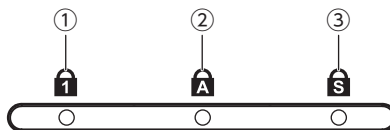
\* 無線通信機能搭載モデルのみ

#### お願い

- 無線通信アンテナのカバーは分解しないでください。

## 3 キーボードのLED (右上部)

キーボードの右上部にLEDがあります。  
キーボードの状態に合わせて、LEDが点灯します。



- ① Num Lock LED
- ② Caps Lock LED
- ③ Scroll Lock LED

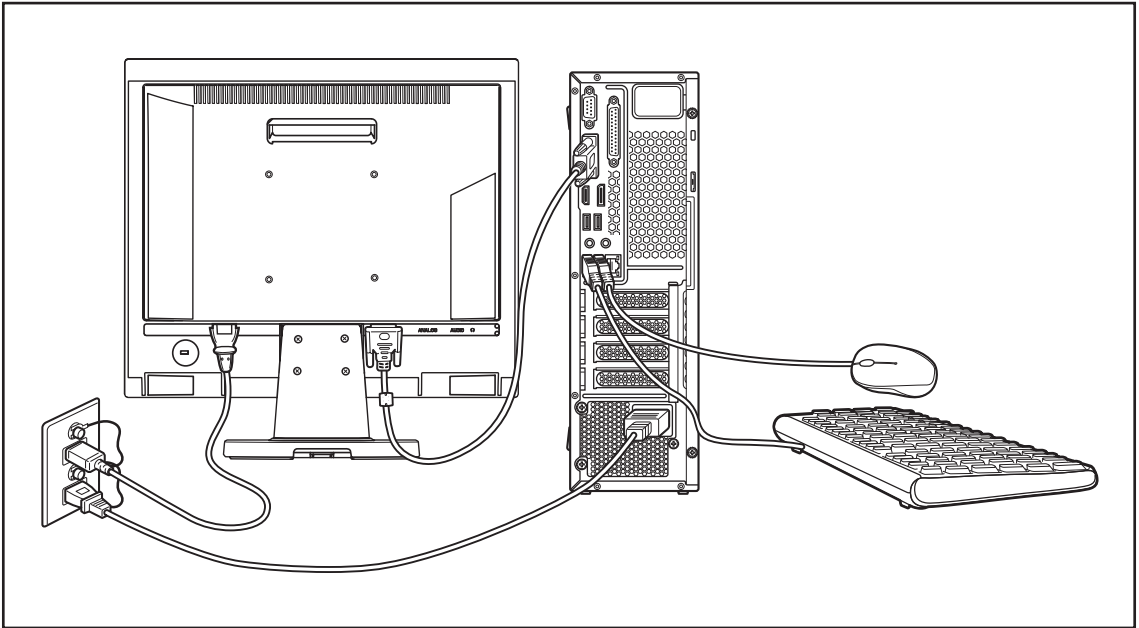
## 2 接続について

ケーブル類を接続する際には、次のことにご注意ください。

- 本体および接続する機器の電源を切る
- ケーブル類の取り付け／取りはずしは、必ずプラグを持って行う
- コネクタの形状に注意して差し込み、プラグに固定ネジがある場合はしっかりと固定する

### 1 接続完成図

本製品の接続例を次に示します。



\*本製品にディスプレイは付属しておりません。

## 2 本体の設置

### 縦置きで使用する場合

#### お願い

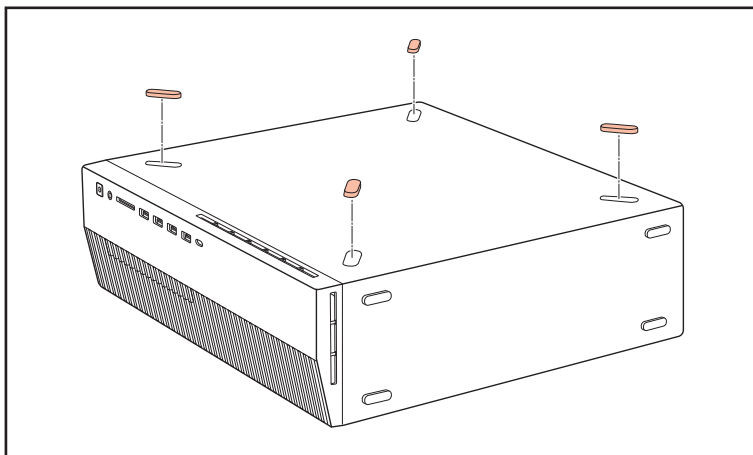
- 本体上部にものをのせないでください。
- 本体前面、側面、背面、底面の通風孔は、空気を通します。次のことを必ず守ってください。
  - ・絶対に通風孔をふさがないでください。また、排気の妨げになるようなものを周辺に置かないようにしてください。
  - ・コップ、花瓶などの液体の入った容器は絶対にのせないでください。
  - ・その他通風孔から入り込むおそれのあるもの（ステーブル、クリップなど）は近くに置かないでください。

## 横置きで使用する場合

本体を横置きで使用する場合には、底面になる側に横置き用ゴム足を貼り付けます。

### 1 横置き用ゴム足の貼り付け目安がある面を上に向けて本体を置き、横置き用ゴム足を貼り付ける

横置き用ゴム足は底面の四隅の印を目安に貼り付けてください。



### 2 横置き用ゴム足を貼り付けた面を底面にして設置する

#### お願い

- ディスプレイ（重量制限：10kgまで）以外のものをのせないでください。
- 本体側面、底面の通風孔は、空気を通します。次のことを必ず守ってください。
  - ・絶対に通風孔をふさがないでください。また、排気の妨げになるようなものを周辺に置かないようにしてください。
  - ・コップ、花瓶などの液体の入った容器は絶対にのせないでください。
  - ・その他通風孔から入り込むおそれのあるもの（ステーブル、クリップなど）は絶対にのせないでください。
- 本体を横置きに設置しているときは、ディスプレイの前にキーボードなどの障害物があると、ディスプレイが開かない場合があります。ディスプレイの前に障害物を置かないようにしてください。



### 3 ディスプレイ（別売り）の接続

本製品には、次のようなディスプレイを接続できます。

- アナログRGB入力端子があるディスプレイ
- HDMI<sup>®</sup>入力端子があるディスプレイ
- ディスプレイポート入力端子があるディスプレイ など

接続の際は『ディスプレイに付属の説明書』をご覧くださいのうえ、作業を行ってください。

#### メモ

- すべてのディスプレイの動作を保証するものではありません。また、ディスプレイによっては、正しく表示されない場合もあります。


## ディスプレイの接続

### 1 ディスプレイと本体の電源が切れていることを確認する

### 2 ディスプレイ側の各コネクタに、電源コードと各ケーブルを接続する

**参照**▶ ディスプレイの取り扱いについては『ディスプレイに付属の説明書』

ディスプレイの種類	接続するケーブル
アナログRGB入力端子があるディスプレイ	● アナログRGBケーブル ● オーディオケーブル*1*2
HDMI <sup>®</sup> 入力端子があるディスプレイ	● HDMI <sup>®</sup> ケーブル*3*4
ディスプレイポート入力端子があるディスプレイ	● ディスプレイポートケーブル*3*4

- \* 1 ディスプレイの機種によっては、オーディオケーブルが付属しない場合があります。この場合は、市販のオーディオケーブルを使用してください。
- \* 2 ディスプレイの機種によっては、ディスプレイにオーディオ端子がない場合があります。この場合は、オーディオケーブルは使用せずに、パソコン本体背面のLINE OUT端子にスピーカーを接続してください。
- \* 3 ディスプレイに付属のものか市販のものを使用してください。HDMI<sup>®</sup>ケーブルは、HDMI<sup>®</sup>ロゴ（）の表示があるケーブルを使用してください。
- \* 4 ディスプレイの機種によっては、スピーカーがない場合があります。この場合は、パソコン本体背面のLINE OUT端子にスピーカーを接続してください。

#### お願い

- 電源コードは、必ずディスプレイに付属のものをお使いください。  
市販の電源コードやほかの電気製品の電源コードには、形状が同じでも、定格電圧・電流が異なるものがあります。

### 3

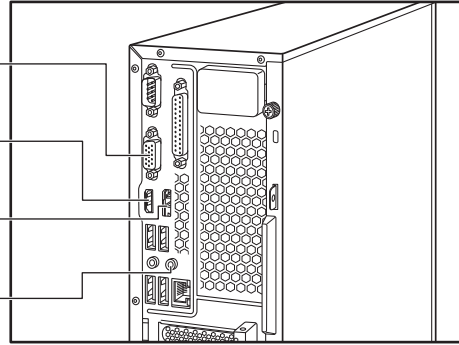
## パソコン本体側の各コネクタに、各ケーブルを接続する

アナログRGBケーブルは、  
アナログRGBコネクタに接続

HDMI®ケーブルは、  
HDMI®出力端子に接続

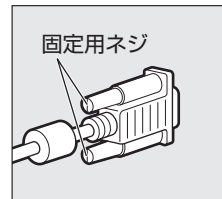
ディスプレイポートケーブルは、  
ディスプレイポートに接続

オーディオケーブルやスピーカーは、  
LINE OUT端子に接続



### お願い

- アナログRGBケーブルのプラグの固定用ネジは、必ず手で回してください。ドライバーなどを使用して強く締めると、固定用ネジが破損するおそれがあります。

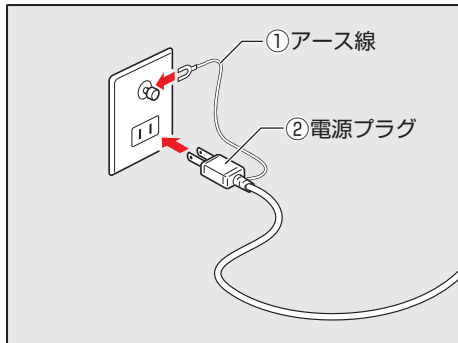


### メモ

- ディスプレイに接続していないケーブル（使用していないケーブル）は、パソコン本体から取りはずしてください。

## 4 ディスプレイの電源コードを、コンセントに接続する

電源コードのアース線をアース端子に接続し①、電源プラグをコンセント（AC100V）に差し込みます②。



### ⚠ 注意

- 電源コードの電源プラグは必ずAC100Vのコンセントに差し込む  
AC100V以外のコンセントに差し込むと火災・感電のおそれがあります。

### お願い

- 電源コードの電源プラグから出ているアース線は、安全のため必ずアース端子に接続してください。万が一漏電した場合の感電を防止します。

## ディスプレイの取りはずし

各ケーブルを取りはずす場合は、ディスプレイの電源とパソコン本体の電源が切れていることを確認し、取り付けと逆の手順で行ってください。

電源コードを取りはずす場合は、①電源プラグ、②アース線の順に行ってください。

### お願い

- アナログRGBケーブルを本体から取りはずす場合は、プラグの固定用ネジを手でゆるめ、固定用ネジが本体から完全にはずれた状態で行ってください。  
固定用ネジが本体に接続された状態で、アナログRGBケーブルに無理な力を加えると、ケーブルの破損、および、本体の故障の原因となります。

## 4 マウスとキーボードの接続

- 1 マウスとキーボードのプラグをUSB Type-A コネクタに差し込む  
プラグの向きを確認して、しっかりと奥まで差し込んでください。

## 5 電源コードの接続

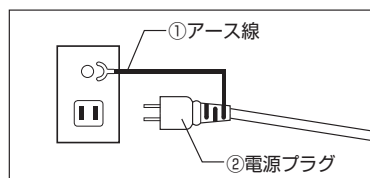
空調機や複写機などの高い消費電力を必要としたり、ノイズを発生させる機器と同じコンセントから電源を取らないでください。

### ⚠ 警告

- 電源コードは、付属の2ピン電源プラグ付きコードを必ず使用する  
付属のコード以外を使用すると火災・感電のおそれがあります。
- アース線は必ずコンセントのアース端子に接続する  
感電のおそれがあります。
- 付属の電源コードは、本製品以外には使用しない  
付属の電源コードは、本製品専用です。

### お願い

- 電源コードの接続は、最後に行ってください。
- 電源コードの接続は、①アース線、②電源プラグの順に行ってください。取りはずす場合は、取り付けと逆の順番（電源プラグ→アース線）で行ってください。
- アース線は、万が一漏電した場合の感電を防止します。安全のために必ず接続してください。
- コンセントから抜くときは必ず電源プラグを持って引き抜いてください。
- 電源コードの上に重いものを載せないでください。
- 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、結んだり、つぎ足したりしないでください。
- 電源コードが熱器具に触れないよう、十分な距離をとってください。

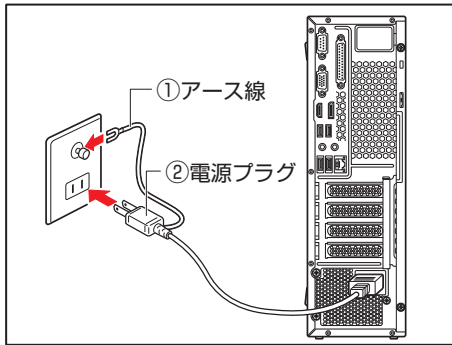


- 1 ディスプレイの電源が切れていることを確認する

- 2 電源コードをパソコン本体背面の電源コネクタに差し込む

**3**

電源コードのアース線をアース端子に接続し①、電源プラグをコンセント (AC100V) に接続する②



### ⚠ 注意

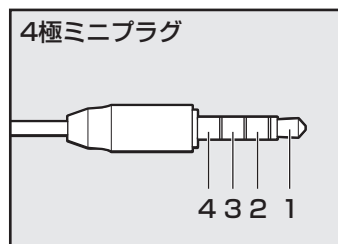
- 電源コードの電源プラグは必ずAC100Vのコンセントに差し込む  
AC100V以外のコンセントに差し込むと火災・感電のおそれがあります。

## 3 マイクやヘッドホンを使う

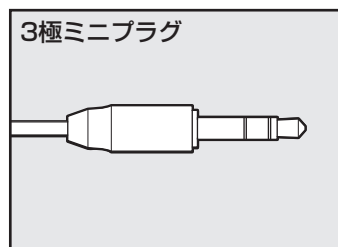
本製品のマイク入力/ヘッドホン出力端子にヘッドホンやヘッドセットを接続できます。

### 1 使用できる端子の種類

本製品のマイク入力/ヘッドホン出力端子で使用できる端子の種類は次のとおりです。



- プラグは直径3.5mm4極ミニプラグタイプが使用できます。
- 左図の数字は、次の内容を示します。
  - 1：ヘッドホン左
  - 2：ヘッドホン右
  - 3：グラウンド（マイク）
  - 4：マイク（グラウンド）
- 3ピンと4ピンのグラウンドとマイクは、本製品が自動識別します。
- マイク機能のみ、ヘッドホン機能のみを使用する場合、設定の変更を行う必要があります。



- プラグは直径3.5mm3極ミニプラグタイプが使用できます。
- ヘッドホンが使用できます。

音声認識ソフトとあわせて使用する場合は、各アプリケーションの取り扱い元が推奨するマイクを使用してください。

すべてのヘッドホン、ヘッドセットに対応するものではありません。

## 4 CD/DVDを使う ドライブ

### \* ドライブ搭載モデルのみ

本製品にはDVD-ROMドライブまたはDVDスーパーマルチドライブのいずれかが1台搭載されています。

搭載されているドライブの種類は、ご購入のモデルにより、異なります。

### お願い

- ドライブを使用しないときは、必ずCD/DVDを取り出しておいてください。
- 市販のレンズクリーナーは使用しないでください。ドライブの故障の原因となります。

### ● DVD-ROMドライブ

DVD-ROM、CD-ROMの読み出し機能を搭載したドライブです。

### ● DVDスーパーマルチドライブ

DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R\*<sup>1</sup>、DVD+RW、DVD+R\*<sup>2</sup>、CD-RW、CD-Rの読み出し/書き込み機能と、DVD-ROM、CD-ROMの読み出し機能を搭載したドライブです。

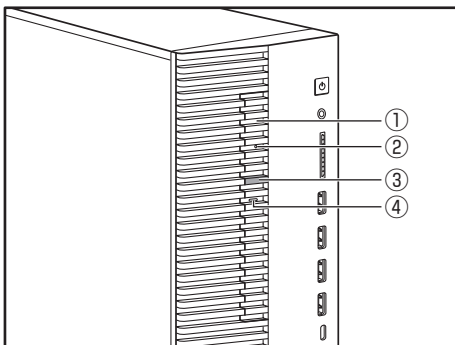
\*1 本書では、「DVD-R」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、DVD-R DL (DVD-R Dual Layer) を含みます。

\*2 本書では、「DVD+R」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、DVD+R DL (DVD+R Double Layer) を含みます。

## 1 ドライブの各部の名称と機能

搭載されているDVD-ROMドライブまたはDVDスーパーマルチドライブの各部の名称と機能は次のとおりです。

なお、イラストは一例です。購入したモデルによってはボタンの位置などは異なります。



### ① ディスクトレイ

CD/DVDをセットする部分です。

### ② イジェクトホール

故障などで電源が入らない場合、先の細い丈夫なもの(クリップを伸ばしたものなど)で押してディスクトレイを強制的に出します。

通常は使用しません。

**参照** [「ディスクトレイが出てこない場合 \(36ページ\)」](#)

### ③ イジェクトボタン

ディスクトレイの出し入れのときに押します。

### ④ アクセスランプ

CD/DVDへのアクセスが行われているときに、点灯します。

## 2 CD/DVDを使う前に

\* 書き込み機能はDVDスーパーマルチモデルのみ

- CD-ROM、DVD-ROMからの読み出し速度は、次のとおりです。

記録メディア	読み出し速度
CD-ROM	最大24倍速
DVD-ROM	最大8倍速

- CD-RW、CD-R、DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+Rに書き込む際には、次のメーカーのメディアを使用することを推奨します。

記録メディア	書き込み／書き換え速度	推奨メーカー
CD-R	最大24倍速	三菱ケミカルメディア(株)
CD-RW	最大16倍速	
DVD-R	最大8倍速	
DVD-R DL	最大6倍速	
DVD+R	最大8倍速	
DVD+R DL	最大6倍速	
DVD-RW	最大6倍速	
DVD+RW	最大8倍速	パナソニック(株)
DVD-RAM	最大5倍速	

これらのメーカー以外のメディアを使用すると、うまく書き込みができない場合があります。

- CD-R、DVD-R、DVD+Rに書き込んだデータの消去はできません。
- CD-RW、DVD-RAM、DVD-RW、DVD+RWの消去されたデータを復元することはできません。消去の際は、メディアの内容を十分に確認してから行ってください。
- 書き込み可能なドライブが複数台接続されているときには、書き込み・消去するメディアをセットしたドライブを間違えないよう十分に注意してください。
- DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+Rへの書き込みでは、ファイルの管理領域なども必要になるため、メディアに記載された容量分のデータを書き込めない場合があります。
- DVD-RW、DVD-Rへの書き込みでは、DVDの規格に準拠するため、書き込むデータのサイズが約1GBに満たない場合にはダミーのデータを加えて、最小1GBのデータに編集して書き込みます。このため、実際に書き込もうとしたデータが少ないにもかかわらず、書き込み完了までに時間がかかることがあります。
- DVD-RAMをドライブにセットしたとき、システムがDVD-RAMを認識するまでに多少時間がかかります。
- カートリッジタイプのDVD-RAMは、カートリッジから取り出してドライブにセットしてください。
- ハードディスクに不良セクターがあると書き込みに失敗するおそれがあります。定期的に「エラーチェック」でクラスタのチェックを行うことをおすすめします。
- ドライブの構造上、メディアの傷、汚れ、ほこり、チリなどにより読み出し／書き込みができなくなる場合があります。データなどを書き込むときは、メディアの状態をよくご確認ください。



## メモ

- 市販のDVD-Rには業務用メディア (for Authoring) と一般用メディア (for General) があります。業務用メディアはパソコンのドライブでは書き込みを行うことができません。一般用メディア (for General) を使用してください。
- 市販のDVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+Rには「for Data」と「for Video」の2種類があります。映像を保存する場合や家庭用DVDビデオレコーダーとの互換性を重視する場合は「for Video」を使用してください。
- 作成したDVDは、一部の家庭用DVDビデオレコーダーやパソコンでは再生できないこともあります。また、作成したDVD+R DLメディアを再生するときは、DVD+R DLメディアの読み取りに対応している機器を使用してください。DVD-R DLメディアを再生するときは、DVD-R DLメディアの読み取りに対応している機器を使用してください。

## 3 CD/DVDのセットと取り出し

### お願い

- 電源が入っているときには、イジェクトホールを押さないでください。CD/DVDのデータやドライブが壊れるおそれがあります。
- CD/DVDのセットと取り出しは、電源ON時に行ってください。電源OFF時に行っても、ディスクトレイの出し入れはできません。  
故障などで電源が入らない場合は、ドライブのイジェクトホールを先の細い、丈夫なもの（たとえばクリップを伸ばしたもの）で押してください。ディスクトレイが出てきます。
- CD/DVDをディスクトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
- ドライブを使用しないときは、必ずCD/DVDを取り出しておいてください。
- 外側を切り欠いたCD/DVDなど正常な円形ではないCD/DVDや、変形したCD/DVD、ラベルを貼ったCD/DVDは使用しないでください。異常振動の発生や故障の原因となります。

## メモ

- CD/DVDの種類によっては、取り出すとき自動的にセッションを閉じてしまう場合があります。このとき、確認のメッセージなどは表示されません。よく確認してからCD/DVDをセットしてください。

### 1 ドライブのイジェクトボタンを押す

ディスクトレイが出てきます。

#### お願い

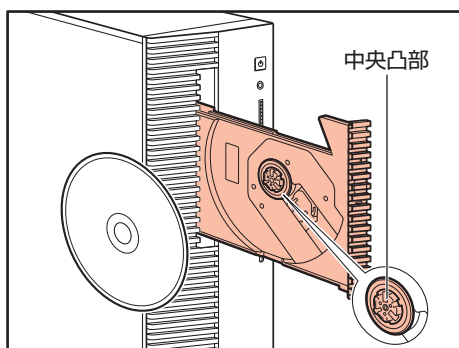
- イジェクトボタンは、アクセスランプが消灯している状態で押してください。

### 2 ディスクトレイを引き出す

CD/DVDをセットする面がすべて出るまで引き出します。

### 3 CD/DVDディスクの表面を左側に向けて、穴の部分をディスクトレイ中央凸部に合わせ、セットする

CD/DVDをセットするときは、ディスクトレイを強く押しすぎないでください。



\* イラストは一例です。購入したモデルによってディスクトレイの形状は異なります。

このとき、レンズおよびその周辺（ディスクトレイの裏側も含む）に触れないように注意してください。

「カチッ」と音がして、セットされていることを確認してください。

### 4 ディスクトレイを押し戻す

ディスクトレイが格納されます。

### 1 ドライブのイジェクトボタンを押す

ディスクトレイが出てきます。

#### お願い

- イジェクトボタンは、アクセスランプが消灯している状態で押してください。

### 2 ディスクトレイを引き出す

CD/DVDをセットする面がすべて出るまで引き出します。

### 3 CD/DVDの端をそっと持ち、取り出す

取り出しにくいときは、中央凸部を少し押してください。簡単に取り出せるようになります。

このとき、レンズおよびその周辺（ディスクトレイの裏側も含む）に触れないように注意してください。

### 4 ディスクトレイを押し戻す

ディスクトレイが格納されます。

## ディスクトレイが出てこない場合

### ⚠ 注意

- クリップなどを使う場合は、取り扱いに十分注意する  
先端のとがった部分でけがをするおそれがあります。

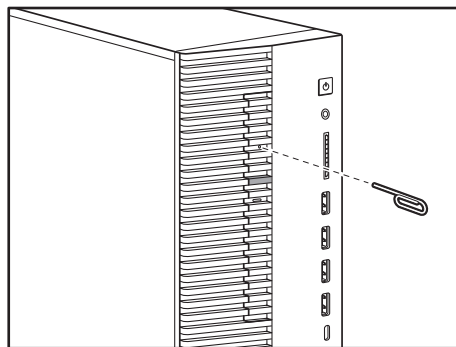
電源を切っているときは、イジェクトボタンを押してもディスクトレイは出てきません。

電源が入らない場合は、イジェクトホールを、先の細い丈夫なもの（クリップを伸ばしたものなど）で押してください。

次の場合は、電源が入っていても、イジェクトボタンを押したあとすぐにディスクトレイは出てきません。アクセスランプの点滅が終了したことを確認してからイジェクトボタンを押してください。

- ・ 電源を入れた直後
- ・ ディスクトレイを格納した直後
- ・ 再起動した直後
- ・ スリープ状態のとき

**参照**▶ イジェクトボタン、イジェクトホール、アクセスランプの位置  
[「ドライブの各部の名称と機能 \(31 ページ\)」](#)



\* イラストは一例です。購入したモデルによってはイジェクトホールの位置などは異なります。

## 5 機器の拡張を行うときは

本製品は、PCI Express カードやメモリを増設して、システムの拡張を図ることができます。

システムの拡張についてはパソコンの内部について、ある程度の知識や経験のあるかた（以前にPCI Express カードやメモリの取り付けなどを行われたかた）を対象としております。システム拡張の経験のないかたや難しいと思われるかたは、お問い合わせ先、または営業担当にご相談ください（作業をご依頼の場合は有料で行います）。

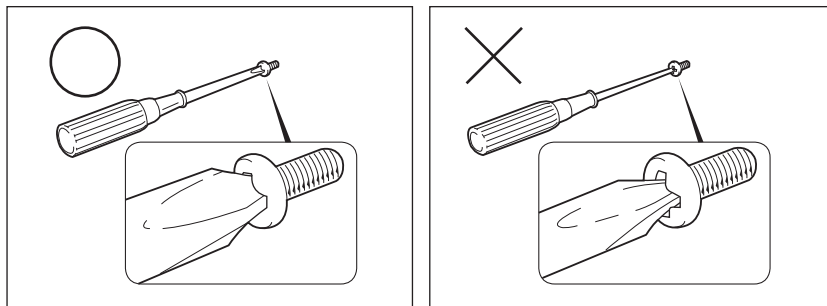
**参照** [「お問い合わせ先について \(62 ページ\)」](#)

### 1 作業前の注意事項

#### 注意

- 作業を始める前に、必ずパソコン本体の電源を切り、電源コードなどのすべてのケーブルを取りはずす  
守らないと、感電・けがのおそれがあります。
  - 電源を切った直後に機器の拡張を行わない  
電源を切った直後は内部が高温になっており、やけどのおそれがあります。電源を切ったあと、30分以上たってから本体カバーを取りはずしてください。
  - 作業上必要な場所以外には手を触れない  
内部には高電圧部分があるので、感電のおそれがあります。
  - 作業用手袋を着用する  
本体内部や回路基板などには鋭利な部分があり、けがのおそれがあります。
- 
- 必ず『増設する機器に付属の説明書』をお読みになったうえで、取り付けを行ってください。
  - 注意事項は、増設する機器によって異なります。各項目をよく読んでから作業を行ってください。
  - 作業は指示された手順で行ってください。
  - 静電気の発生しやすい環境（じゅうたんの上など）で作業しないでください。静電気を帯びることにより電子部品が故障することがあります。
  - 湿気やほこりが少なく、直射日光の当たらない場所で作業を行ってください。
  - 温度範囲は 10～35℃、湿度範囲は 20～80%ですが、結露するような急激な温度変化を与えないでください。
  - 本書に記載している手順は、モデルによって、一部実際とは異なる場合があります。

- コネクタの接続、本体カバーの取りはずし／取り付けなどで、ドライバーを使用する場合は、必ずネジに合ったものをご使用ください。  
ネジに合わないドライバーは、十字穴にすきまができて安定しません。また、無理に使用すると、十字穴をつぶす原因になります。



- 取りはずしたネジは紛失しないように注意してください。また、機器内部に落とさないでください。
- ネジは数種類あります。取りはずしたネジは必ず元のネジ穴に取り付けてください。
- 本体へのケーブル接続は、コネクタの形状に注意して正しく差し込んでください。プラグに無理な力が加わるとピンが折れたり曲がったりします。ケーブルのプラグに固定用ネジがある場合は、ケーブルがはずれないようにネジをしめてください。
- 電源コードの接続は、①アース線の接続、②電源プラグのコンセントへの接続の順に行ってください。取りはずす場合は、①電源プラグ、②アース線の順に行ってください。
- 異常や故障が発生したら、お問い合わせ先、または営業担当にご相談ください。

**参照**▶ [「お問い合わせ先について \(62ページ\)」](#)

## 2 作業に必要な道具

システムの拡張作業で、次のような道具が必要になる場合があります。あらかじめ、ご用意ください。

- ・ + (プラス) ドライバー
- ・ 作業用手袋
- ・ 取りはずしたネジなどを入れる袋

## 3 システム拡張時の設定

増設する機器によっては、BIOS セットアップなどでの設定が必要になるものがあります。

**参照**▶ 設定について『増設する機器に付属の説明書』

## 6 本体カバーを取りはずす／取り付ける

### ⚠ 注意

- 電源を切った直後に機器の拡張を行わない  
電源を切った直後は内部が高温になっており、やけどのおそれがあります。電源を切ったあと、30分以上たってから本体カバーを取りはずしてください。
- 作業用手袋を着用する  
本体内部や回路基板などには鋭利な部分があり、けがのおそれがあります。

### お願い

- 機器の増設などのほかは、カバーを開けないでください。故障の原因となる場合があります。
- 本体カバーを取りはずして作業する場合、本体の電源コードを抜いて1分以上たってから行ってください。本体の故障の原因となります。
- 本体カバーを取りはずした状態で電源を入れないでください。電源を入れる前には、必ず本体カバーを取り付けてください。

システムを拡張する場合、さまざまな機器の取り付け位置は本体内部にあるため、本体カバーを取りはずす必要があります。先に本体カバーの取りはずし／取り付けかたをまとめて説明します。それぞれの機器の取り付け、取りはずしについては次節より説明します。

## 1 本体カバーの取りはずし

### 1 作業前の注意事項を確認する

参照 ▶ [「機器の拡張を行うときは（37ページ）」](#)

### 2 パソコンの電源を切る

### 3 パソコン本体に接続されているすべての周辺機器の電源を切る

### 4 コンセントから電源コードの電源プラグを引き抜き、アース線を取りはずす

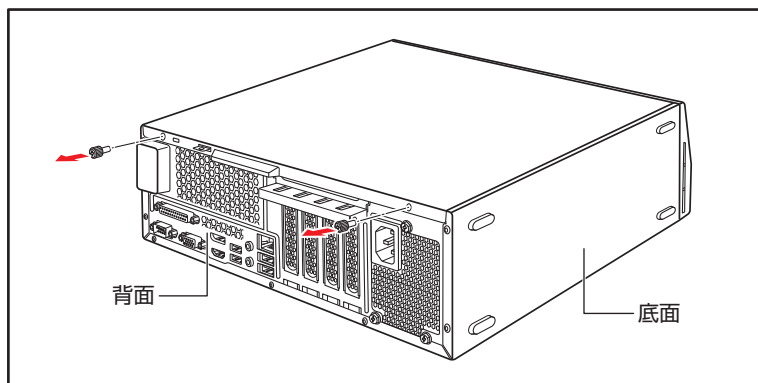
### お願い

- 電源を切っただけでは、メインボードは通電状態となっています。通電状態でコネクタからの抜き差しを行うと、故障の原因となります。必ず電源コードを抜いてから作業を行ってください。

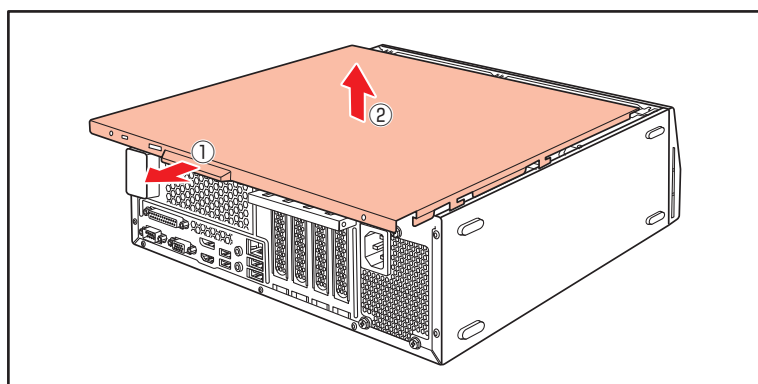
**5** パソコン本体に接続されている、電源コードを含むすべてのケーブルや周辺機器を取りはずす

**6** 本体背面のネジ2本を取りはずす

本体を図のように置いてから作業を行ってください。



**7** 本体カバーをスライドさせ①、まっすぐ上に持ち上げて取りはずす②



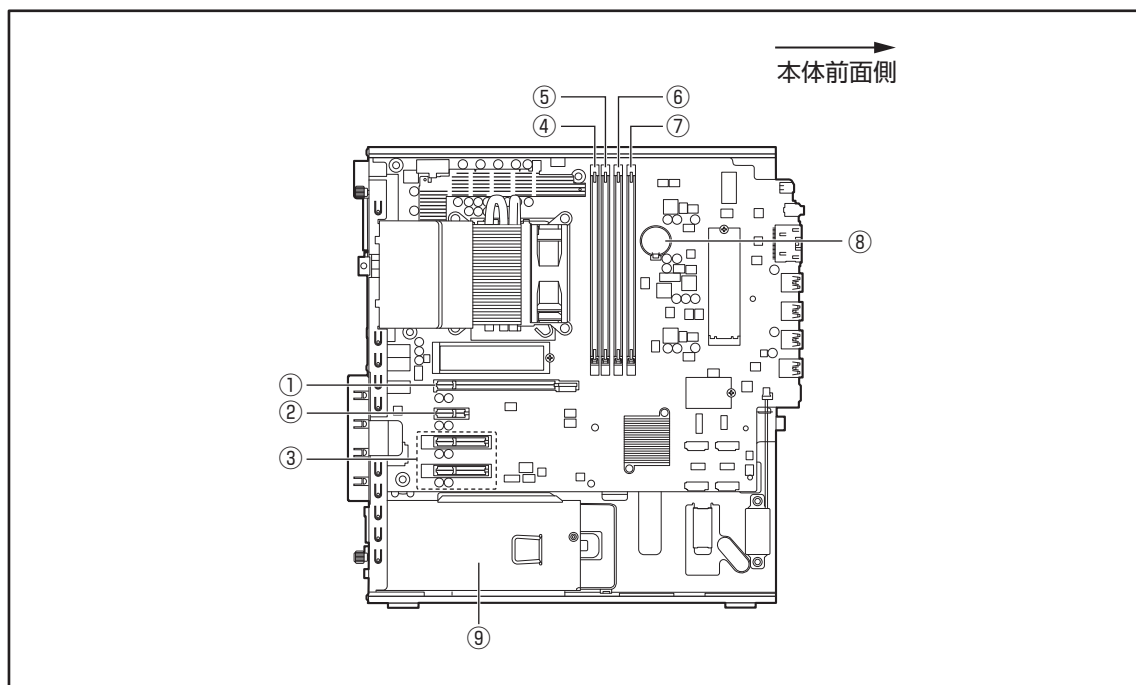
### ⚠ 注意

- カバーの取り扱いはいねいに行う  
カバーは重量があり、落としたりぶついたりするとけがのおそれがあります。



## 2 本体内部のユーザー作業エリアについて

次の図は、本体カバーを取りはずして、ドライブケースを90度回転させた状態を示しています。あらかじめ、ユーザー作業エリアを確認してください。



### ⚠ 注意

- ユーザー作業エリア以外は分解しない  
内部には高電圧部分があり感電のおそれがあります。
- ユーザー作業エリア以外は触れない  
本体内部には鋭利な部分があり、けがのおそれがあります。

\* ユーザー作業エリアは、①～⑧です。これ以外の場所（⑨など）には、触れないでください。

① PCI Express × 16 スロット

② PCI Express × 1 スロット

③ PCI Express × 4 スロット

④ メモリスロット3

⑤ メモリスロット1

⑥ メモリスロット4

⑦ メモリスロット2

⑧ 内蔵バッテリー

⑨ 電源ユニット

(内部には高電圧部があるためカバーを開けないこと。)

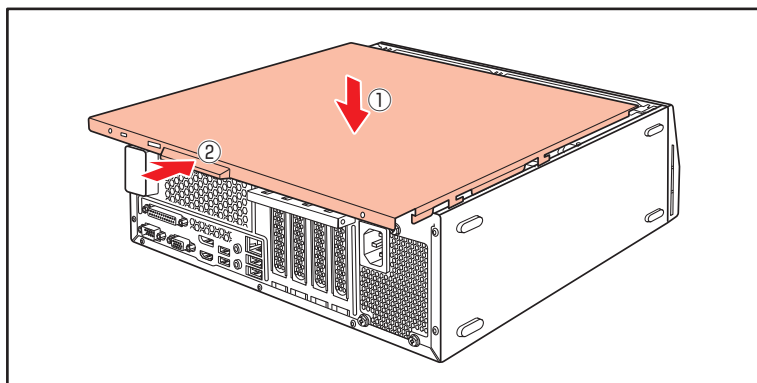
### 3 本体カバーの取り付け

#### 1 作業前の注意事項を確認する

参照 ▶ [「機器の拡張を行うときは（37ページ）」](#)

#### 2 工具類や部品類を本体内部に残していないこと、部品類の取り付けが正しく、しっかり行われていることを確認する

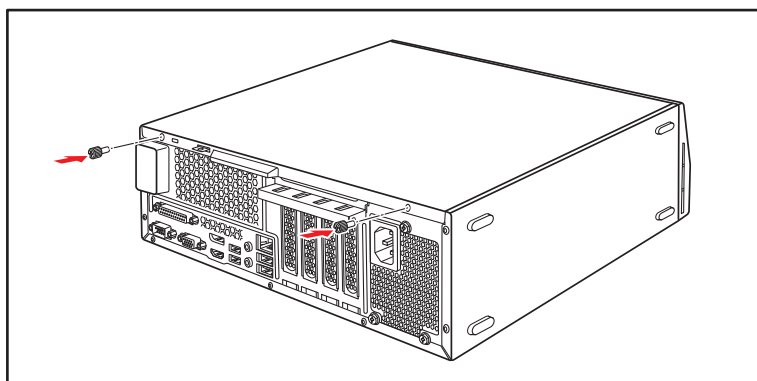
#### 3 本体カバーをのせて①、スライドさせる②



#### お願い

- ケーブル類をはさみ込まないようにしてください。

#### 4 本体背面にネジ2本を取り付け、固定する



## 7 PCI Expressカードを増設する

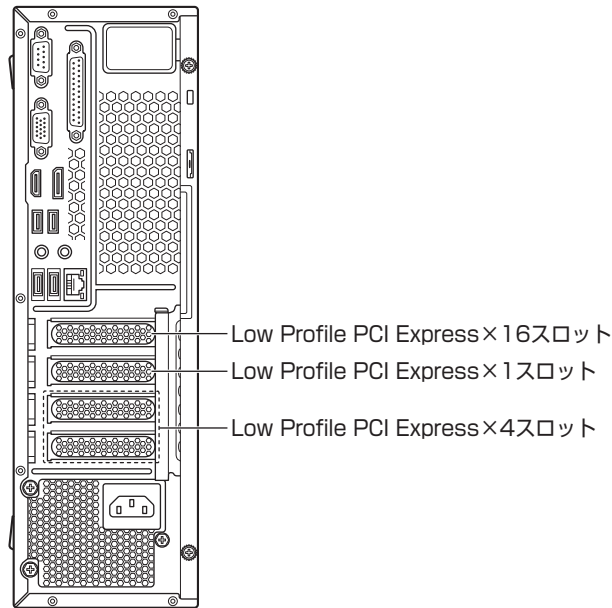
### お願い

- 本製品で使用できるPCI ExpressカードはLow Profile規格に対応したカードのみです。
- すべてのPCI Expressカードの動作を保証するものではありません。

### 1 拡張スロットの位置

本体には次の拡張スロットが搭載されています。

- Low Profile PCI Express × 16カード用 1個
- Low Profile PCI Express × 1カード用 1個
- Low Profile PCI Express × 4カード用 2個



### お願い

- 拡張スロットの電流容量を超えないように注意してください。

**参照** 電流容量について

[「拡張スロットの電流容量 \(46ページ\)」](#)、『PCI Expressカードに付属の説明書』

- PCI Expressカードは、特に静電気に対して敏感で、取り扱いには注意が必要です。  
カードを持つときは、カードの縁を持ち、部品や金メッキ部分には触らないようにしてください。  
保護袋や本体からカードを抜き出したときには、水平で、接地された、静電気の無いところに、部品面を上にして置くようにしてください。カードは、どんな面の上でも、滑らせて移動させないでください。

## 2 PCI Expressカードの外形図

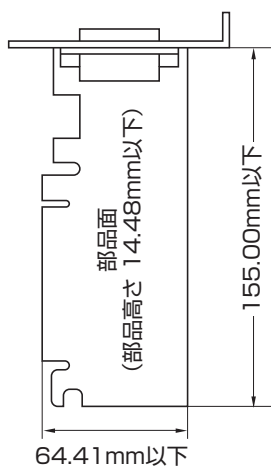
各スロット用のカードの種類と本体に装着可能なカードの外形図を示します。

### お願い

- 接触による事故防止のため高さ制限を守ったカードを使用してください。
- 本体内に装着できるPCI Expressカードは、次に示すサイズ以下のものです。このサイズを超える大きさのカードは取り付けないでください。故障や不具合が発生する場合があります。

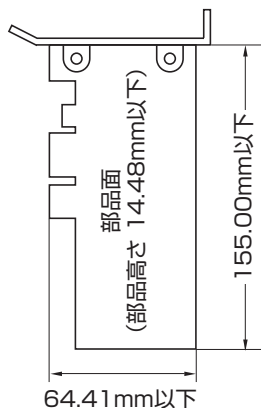
### PCI Express × 16スロットに装着可能なカード

PCI Express × 16スロットには、次に示すサイズのLow Profile PCI Express × 16カードのみ装着できます。



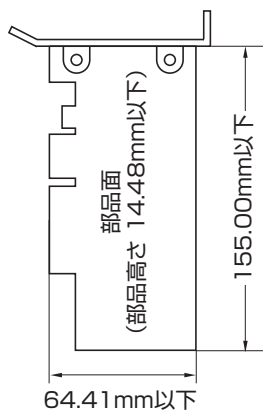
### PCI Express × 1スロットに装着可能なカード

PCI Express × 1スロットには、次に示すサイズのLow Profile PCI Express × 1カードのみ装着できます。



## PCI Express × 4 スロットに装着可能なカード

PCI Express × 4 スロットには、次に示すサイズの Low Profile PCI Express × 4 カードのみ装着できます。



### 3 拡張スロットの電流容量

拡張スロットで使用可能な電流容量は次のとおりです。拡張デバイスの合計で、次の許容電流値を必ず守ってください。

#### ■ 拡張スロットの許容電流値

電流容量	拡張スロットの合計
+12V	9.0A以下
+3.3V	5.0A以下

### 4 PCI Express カードの取り付け

#### 注意

- この作業を行うときは、金具やPCI Express カードの突起部分で指を傷つけないように作業用手袋を着用する

#### お願い

- この作業を行うとき、メインボードやほかのボードの部品を損傷しないように注意してください。

# 1 作業前の注意事項を確認する

参照 ▶ [「機器の拡張を行うときは \(37ページ\)」](#)

# 2 パソコンの電源を切る

# 3 パソコン本体に接続されているすべての周辺機器の電源を切る

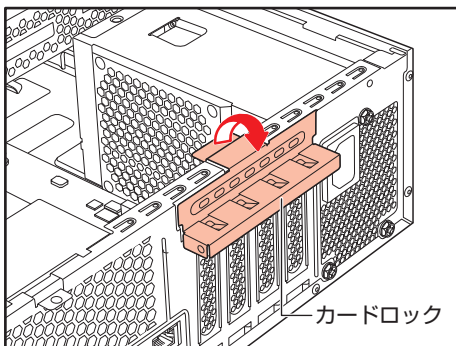
# 4 コンセントから電源コードの電源プラグを引き抜き、アース線を取りはずす

# 5 パソコン本体に接続されている、電源コードを含むすべてのケーブルや周辺機器を取りはずす

# 6 本体カバーを取りはずす

参照 ▶ [「本体カバーを取りはずす／取り付ける \(39ページ\)」](#)

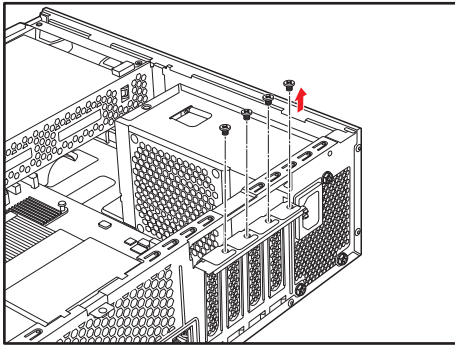
# 7 カードロックを開く



## 8 PCI Express カードパネルをとめているネジをはずす

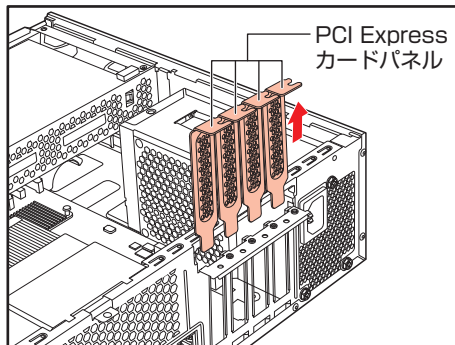


- PCI Express カードを取り付ける拡張スロットのネジのみを、はずしてください。  
PCI Express カードの取り付けを行わない拡張スロットは、そのまま PCI Express カードパネルを取り付けておいてください。



## 9 ネジをはずした PCI Express カードパネルを持ち上げて、取りはずす

取りはずした PCI Express カードパネルは、大切に保管しておいてください。



## 10 取り付ける PCI Express カードを保護袋から抜き出し、水平で、接地された、静電気のないところに、部品面を上にして置く

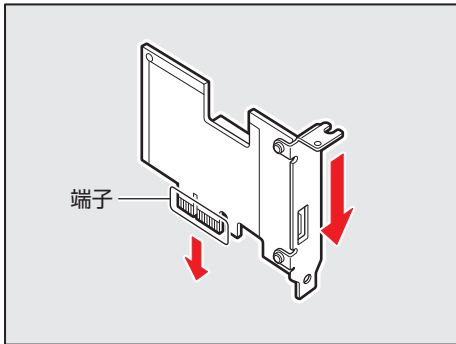
PCI Express カードを取りはずしたときのために、保護袋は保管しておいてください。

## 11 『PCI Express カードに付属の説明書』に従って、カードのジャンパやスイッチの設定をする



## 12 PCI Expressカードの上の縁、または上の角のところで、カードをセットする

PCI Expressカードの端子（金メッキ部分）を拡張スロットコネクタにしっかり合わせて押し入れます。



### お願い

- PCI Expressカードの端子部分に手を触れると、接触不良による故障・誤動作の原因となります。PCI Expressカードの端子部分には手を触れないようにしてください。

### メモ

- PCI Express × 16スロットには、フックがあります。PCI Expressカードを装着する場合には、左右のフックを外側に倒してカードをセットしてください。

## 13 PCI Expressカードパネルをとめていたネジで、PCI Expressカードを固定する

## 14 カードロックを元に戻す

## 15 必要に応じて、取り付けたPCI Expressカードにケーブル類を接続する

## 16 本体カバーを取り付ける

参照 ▶ [「本体カバーを取りはずす／取り付ける（39ページ）」](#)

## 5 PCI Expressカードの取りはずし

PCI Expressカードの取りはずし方法について説明します。取り付け時の図を参照しながら作業を進めてください。

**参照**▶ [「PCI Expressカードの取り付け \(46ページ\)」](#)

### 注意

- この作業を行うときは、金具やPCI Expressカードの突起部分で指を傷つけないように作業用手袋を着用する

#### 1 作業前の注意事項を確認する

**参照**▶ [「機器の拡張を行うときは \(37ページ\)」](#)

#### 2 パソコンの電源を切る

#### 3 パソコン本体に接続されているすべての周辺機器の電源を切る

#### 4 コンセントから電源コードの電源プラグを引き抜き、アース線を取りはずす

#### 5 パソコン本体に接続されている、電源コードを含むすべてのケーブルや周辺機器を取りはずす

#### 6 本体カバーを取りはずす

**参照**▶ [「本体カバーを取りはずす／取り付ける \(39ページ\)」](#)

#### 7 PCI Expressカードに接続されているケーブルがある場合、取りはずす

取りはずしたケーブルは大切に保管しておいてください。

#### 8 カードロックを開く

#### 9 PCI Expressカードをとめているネジをはずす

#### 10 PCI Expressカードの縁を持って、引き抜く

#### メモ

- PCI Express × 16スロットからPCI Expressカードを取りはずす場合には、左右のフックを外側に倒してカードを引き抜いてください。

**11** PCI Express カードを、静電気対策された保護袋に入れて保管する

**12** 保管しておいた PCI Express カードパネルを取り付けて、ネジで固定する

**13** カードロックを元に戻す

**お願い**

- PCI Express カードを取りはずした拡張スロットには必ず PCI Express カードパネルを取り付けるようにしてください。電磁ノイズと機器の冷却に問題が起きることがあります。

**14** 本体カバーを取り付ける

**参照** ▶ [「本体カバーを取りはずす／取り付ける \(39ページ\)」](#)

## 8 メモリを増設する

メモリスロットに増設メモリを取り付けることができます。

ご購入のモデルによって、あらかじめ取り付けられているメモリの容量が異なります。

取り付けられているメモリを増設メモリ（本製品のオプション）と付け替えたり、メモリが取り付けられていないスロットに増設メモリ（本製品のオプション）を取り付けることができます。

モデルによっては、すでに最大容量のメモリが取り付けられている場合があります。その場合は、増設できません。

### お願い

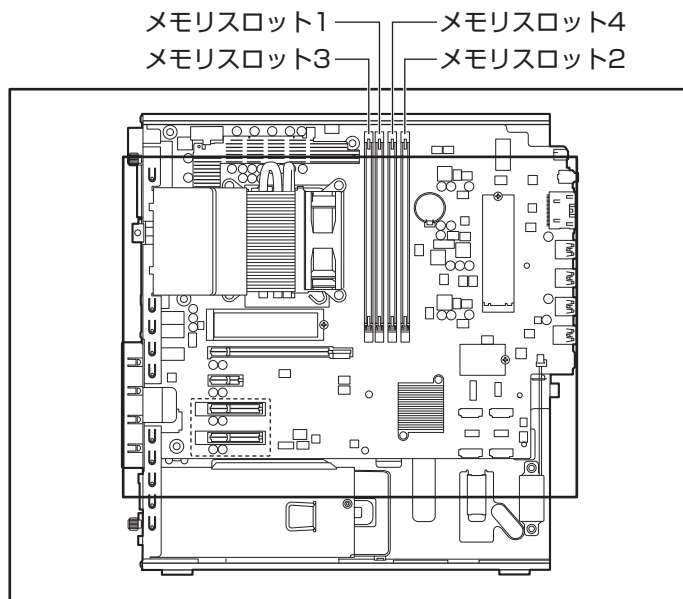
- 必ず『増設メモリに付属の説明書』をお読みになったうえで作業を行ってください。
- 増設メモリの取り付けが難しいと思われる場合は、保守サービスでの取り付けをおすすめします。お問い合わせ先、または営業担当に作業をご依頼ください（作業をご依頼の場合は有料で行います）。

**参照**▶ [「お問い合わせ先について（62ページ）」](#)

- 増設メモリは、当社推奨オプションを使用してください。それ以外のメモリを増設すると、起動しなくなったり、動作が不安定になったりする場合があります。

# 1 メモリスロットの位置

本体には、メモリスロット1～4が搭載されています。



## デュアルチャネルについて

メモリを2枚装着している場合、デュアルチャネルに対応します。デュアルチャネルで動作すると、2枚のメモリに効率よくアクセスできます。

各メモリスロットには最大32GBまで、4つのメモリスロットの合計が最大128GBのメモリを装着できます。

デュアルチャネルで動作させる場合は、次の組み合わせでメモリを装着してください。

メモリスロット3	メモリスロット1	メモリスロット4	メモリスロット2	メモリ総容量
—	8GB	—	8GB	16GB
—	16GB	—	16GB	32GB
—	32GB	—	32GB	64GB
8GB	8GB	8GB	8GB	32GB
16GB	16GB	16GB	16GB	64GB
32GB	32GB	32GB	32GB	128GB

### お願い

- デュアルチャネルで使用する場合は、同じメモリ仕様で同じ容量のメモリを、メモリスロット1と3、またはメモリスロット2と4に装着してください。

## 2 増設メモリの取り付け

### お願い

- 増設メモリは、静電気にたいへん弱い部品で構成されています。身体に静電気を帯びた状態で増設メモリを扱っていると、増設メモリが破壊される原因となります。増設メモリの取り付け／取りはずしを行う場合は、静電気を逃がしてから作業を行ってください。接地された手近にある金属製のものに軽く指を触れるだけで、静電気を逃がすことができます。
- 増設メモリの端子部分に手を触れると、接触不良による故障・誤動作の原因となります。増設メモリの端子部分には手を触れないようにしてください。
- 増設メモリの取り付け／取りはずしを行う場合は、端子やICなどに触れないよう、縁を持ってください。

### 1 作業前の注意事項を確認する

参照 ▶ [「機器の拡張を行うときは（37ページ）」](#)

### 2 パソコンの電源を切る

### 3 パソコン本体に接続されているすべての周辺機器の電源を切る

### 4 コンセントから電源コードの電源プラグを引き抜き、アース線を取りはずす

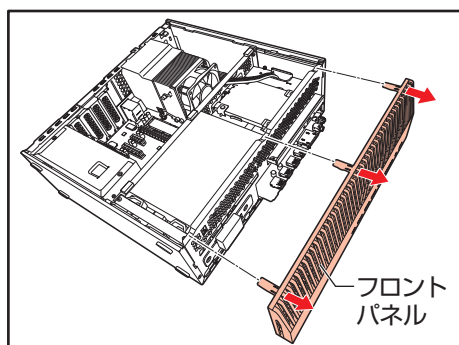
### 5 パソコン本体に接続されている、電源コードを含むすべてのケーブルや周辺機器を取りはずす

### 6 本体カバーを取りはずす

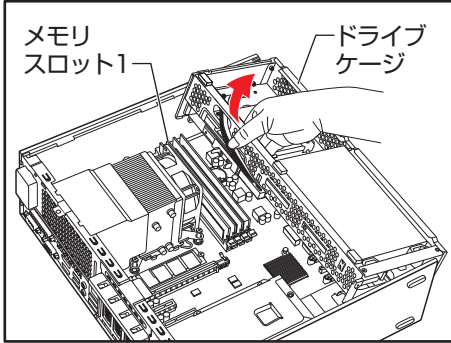
参照 ▶ [「本体カバーを取りはずす／取り付ける（39ページ）」](#)

### 7 フロントパネルの左側面のツメ（3箇所）をはずし、フロントパネルを取りはずす

フロントパネルは、ツメで固定されています。



## 8 ドライブケースを矢印の方向に 90 度回転させる



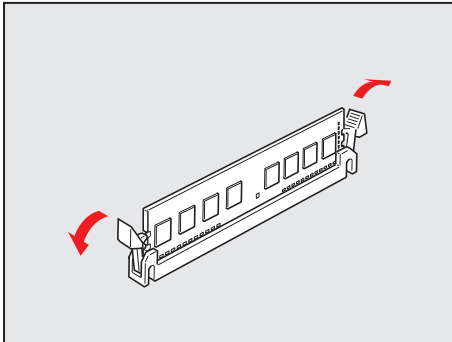
### お願い

- 内部のケーブルをドライブケースではさみ込まないようにしてください。

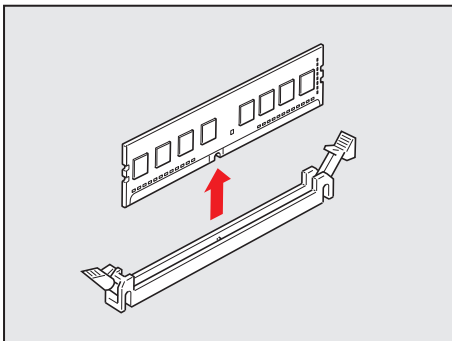
メモリ 1 枚で使用する場合は、メモリスロット 1 に取り付けてください。  
取り付けられているメモリを取りはずす場合は、手順 **9** に進みます。  
空いているメモリスロットにメモリを取り付ける場合は、手順 **11** に進みます。

## 9 取り付けられているメモリを取りはずす場合は、メモリスロットの左右のフックを外側に倒す

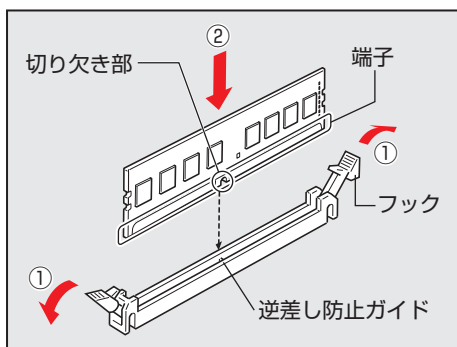
メモリが少し持ち上がります。



## 10 メモリを真上に引き抜く



## 11 メモリスロットの左右のフックを外側に倒し①、増設メモリの切り欠き部を、逆差し防止ガイドに合わせる②

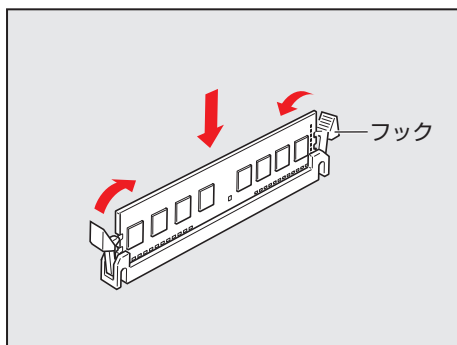


### お願い

- 増設メモリの挿入方向をまちがえないでください。まちがえて取り付けると増設メモリやメモリスロットを破損する原因になります。
- 増設メモリの端子部分に手を触れると、接触不良による故障・誤動作の原因となります。増設メモリの端子部分には手を触れないようにしてください。

## 12 増設メモリを真上から押し込む

増設メモリの端子（金メッキ部分）を押し込むと、左右のフックが垂直に立ち、増設メモリが固定されます。

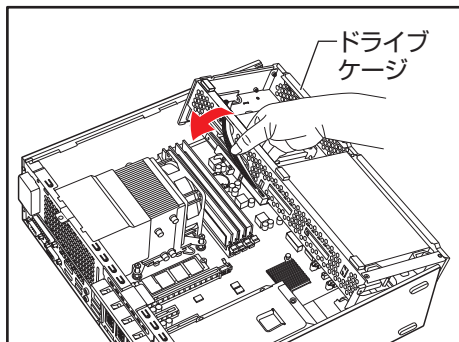


### お願い

- 増設メモリが完全に挿入されていない状態で使用すると、異常動作したり、増設メモリやメモリスロットを破損する原因になります。
- 内部のケーブルを増設メモリとメモリスロットではさみ込まないようにしてください。
- メモリの端子部分がきちんとメモリスロットに入っていることを確認してください。正常に取り付けられていないと、システムが正常に起動できなかったり、故障の原因となります。



### 13 ドライブケースを矢印の方向に90度回転させ、元の位置に戻す



#### お願い

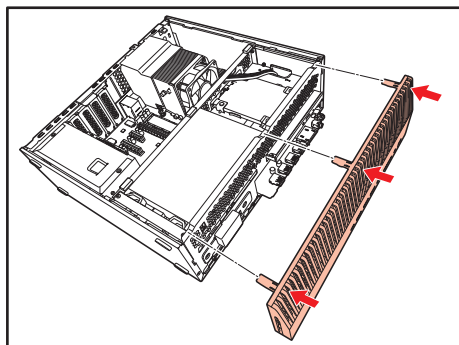
- 内部のケーブルをドライブケースではさみ込まないようにしてください。

### 14 フロントパネルを取り付ける

フロントパネルの右側面にも、3箇所ツメがあります。

右側面の3箇所のツメを、本体の切り欠き部に合わせながら、フロントパネルを取り付けてください。

左側面のツメがカチッと鳴り、本体カバーが固定されたことを確認してください。



### 15 本体カバーを取り付ける

参照 [「本体カバーを取りはずす／取り付ける \(39ページ\)」](#)

以上で増設メモリの取り付けは完了です。  
増設したメモリが認識されているか確認してください。

次のような場合、増設メモリが正しく取り付けられていない可能性があります。

- 電源が入らない
- システムが起動しない
- メモリ容量が合っていない

もう一度、増設メモリの取り付けをやり直してください。

それでも上記の状態が改善されない場合は、お問い合わせ先、または営業担当にご相談ください。

**参照** ➤ [「お問い合わせ先について \(62ページ\)」](#)

## 9 内蔵バッテリーを交換する

内蔵バッテリーは時計およびシステム構成情報（BIOS セットアップの設定内容）を保持するためのものです。内蔵バッテリーを交換する（取りはずす）と、BIOS セットアップの再設定を行う必要があります。

通常の使用環境では、内蔵バッテリーの寿命は約3年です（使用環境や保管状態により、3年に満たない場合があります）。

電源コードの抜き差しなどを行ったあとの電源投入時に次のエラーメッセージが表示される場合、内蔵バッテリーが寿命に達しているおそれがあります。内蔵バッテリーの交換を行ってください。

Error: RTC bad  
Press F1 Skip, F2 Enter Setup

### お願い

- 内蔵バッテリーの交換が難しいと思われるかたは、お問い合わせ先、または営業担当に作業をご依頼ください（作業をご依頼の場合は有料で行います）。
- 電源コードの抜き差し（ブレーカーやスイッチつき電源タップなどによるAC電源切断を含む）を行っていないのにパソコン本体の日時がずれたり、内蔵バッテリー交換後（交換後の最初の起動時を除く）も繰り返しエラーメッセージが表示される場合は、本体が故障しているおそれがあります。お問い合わせ先、または営業担当にご連絡ください。
- 内蔵バッテリーを取りはずすと、システム構成情報（BIOS セットアップでの設定）が失われます。あらかじめシステム構成情報を控えておき、内蔵バッテリーを交換したあとで設定し直してください。
- 本製品に使用できる内蔵バッテリーはCR2032リチウム電池です。交換の際は、市販のCR2032リチウム電池をお買い求めのうえ、ご使用ください。
- 内蔵バッテリーを廃棄する場合は、地方自治体の条例、または規則に従ってください。

参照 ▶ [「お問い合わせ先について（62ページ）」](#)

### ⚠ 注意

- 内蔵バッテリーを取り扱うときは次のことを守る
    - ・ 充電、電極除去、分解をしない
    - ・ 加熱、焼却をしない
    - ・ 水にぬらさない
    - ・ 乳幼児が飲み込んだりしないよう、乳幼児の手が届かないところに置く
    - ・ 電池の内部の液がもれたときは、液に触れない
- 取り扱いを誤ると、発熱・破裂・発火・窒息・中毒・やけどなどのおそれがあります。

## 1 内蔵バッテリーの交換

**1** システム構成情報（BIOSセットアップでの設定）を控えておく

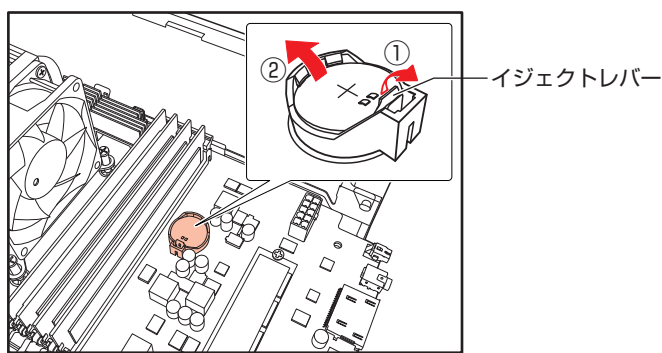
**2** パソコン本体の電源を切り、すべてのケーブルを抜き、本体カバーを開いてドライブケースを90度回転させる

参照 ▶ [「増設メモリの取り付け（54ページ）」](#)の手順 **1** ~ **8**

ドライブケースの下に、内蔵バッテリーがあります。

**3** 内蔵バッテリーの位置を確認し、イジェクトレバーを手前に引く①

内蔵バッテリーが少し浮き上がるので、取りはずします②。



**4** +（プラス）面を上側に向けて、新しいバッテリーを取り付ける

### お願い

- バッテリーの極性（+、-）を間違えないように取り付けてください。  
+側には、「+」マークや「CR2032」が記載されています。

**5** ドライブケースを元に戻して、本体カバーを取り付ける

参照 ▶ [「増設メモリの取り付け（54ページ）」](#)の手順 **13** ~ **15**

**6** BIOSセットアップを起動し、控えておいたシステム構成情報（BIOSセットアップでの設定）を再設定する

## 10 技術基準適合について

### 瞬時電圧低下について

この装置は、一般社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

### 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

### 高調波対策について

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

### レーザー製品の取り扱いについて

- ・ 本製品は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、説明書をよくお読みください。また、お読みいただいたあとも必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お問い合わせ先、または営業担当に依頼してください。

**参照** ▶ [「お問い合わせ先について \(62ページ\)」](#)

- ・ 本説明書に記載された以外の調整・改造を行うと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
- ・ レーザー光に直接被爆しないため、絶対に製品を分解しないでください。

クラス1レーザー製品

### 仕様について

#### お願い

- 本製品の仕様は国内向けになっております。海外ではご使用にならないでください。

\* 2022年7月現在の内容です。

修理

### dynabook 集中修理センター（dynabook あんしんサポート 修理相談窓口）

故障診断や修理受付の電話相談窓口です。

[固定電話から] **0120-97-1048**（通話料無料）

[携帯電話から] **0570-66-6773**（通話料お客様負担）

海外からの電話・一部のIP電話など上記電話番号をご利用になれない場合：**043-298-8780**  
（通話料お客様負担）

受付時間：9:00-19:00（休業日：12/31～1/3）

※2023年1月4日より受付時間は9:00～18:00に変更となります。

PC  
i-repair

### dynabook 集中修理センター

<https://dynabook.com/assistpc/pg/rc.htm>

個人・家庭向け国内仕様本製品の修理相談サービスです。

自己診断Q&A 本当に故障かわからないとき

<https://dynabook.com/assistpc/pg/rsc.htm>

インターネットからの修理のお申し込み

<https://dynabook.com/assistpc/pg/rir.htm>

修理状況の確認（携帯からアクセス可能）

<http://pcrepair.jp>



修理申込後も携帯サイトや電話申込でサービスのご利用が可能です。  
左記のQRコードで携帯サイトにアクセスできます。

\* 携帯サイトからの修理のお申し込みは取り扱っておりません。

## ■ 企業のお客様の本製品（国内仕様）修理依頼は

### 法人向け修理・サポートダイヤル

[https://dynabook.com/assistpc/repaircenter/b2b/shuuri\\_houjin.htm](https://dynabook.com/assistpc/repaircenter/b2b/shuuri_houjin.htm)

電話番号：0120-335-660（フリーダイヤル）

※フリーダイヤルがご利用できない場合は03-6631-5469（通話料お客様負担）

受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・年末年始・当社指定休業日を除く）

FAX：0120-666-782（フリーダイヤル）

FAQ

### 当社ホームページ「[dynabook.com](https://dynabook.com)」で公開しているよくあるご質問と回答

<https://dynabook.com/assistpc/pg/faq.htm>

「dynabook あんしんサポート」にお問い合わせが多い内容についてランキング形式で紹介しています。

[https://dynabook.com/assistpc/faq\\_search/faq\\_ranking\\_call.htm](https://dynabook.com/assistpc/faq_search/faq_ranking_call.htm)

リサイクル  
企業

## PCリサイクルのご相談（企業） dynabook IT機器リサイクルセンター

電話番号：044-555-1214

受付時間：9:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）

FAX：044-555-3220（24時間受付）

●事業系（企業・法人）の使用済みパソコン 回収・リサイクルのホームページ

<https://dynabook.com/assistpc/pg/reb.htm>

点検

## dynabook あんしん点検（有料）の申し込み

<https://dynabook.com/assistpc/pg/at.htm>

PC全体の機能点検に加え、日常お手入れできないPC内部の清掃やウイルスに感染していないか点検を行います。

データ  
復旧

## dynabook データ復旧センター（有料）のご案内

<https://dynabook.com/assistpc/pg/rdata.htm>

突然起きるハードディスク故障や、操作ミスによるデータ消失などのトラブルから大切なデータを復旧いたします。※お客様に著作権のないデータはサービス対象外となります。

### dynabook データ復旧センター

論理障害・軽度の物理障害の際、読み取り可能なフォルダーをDVD-RやUSBメモリなどにバックアップいたします。

※データ量が4.7GB以下の場合はDVD-Rに、4.7GB以上32GB以下の場合はUSBメモリに、32GB以上の場合はUSB接続型の外付けハードディスクドライブに格納いたします。

### 【個人のお客様】

電話番号：043-277-9270（通話料お客様負担）

受付時間：9:00～18:00（12月31日～1月3日を除く）

### 【企業のお客様】

電話番号：0120-335-660（フリーダイヤル）

※フリーダイヤルがご利用できない場合は03-6631-5469（通話料お客様負担）

受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・年末年始・当社指定休業日を除く）

FAX：0120-666-782（フリーダイヤル）

